

第1回定例研(5/19)に提出

- ( ) 東部  
 ( ) 中部  
 ( ) 西部

教室名	
開設年度	昭和・平成【     】年

\* ( )には○を【     】には文字または数字を記入

**1 幼児言語指導を担当する行政**

教育行政 (     ) 教育委員会

福祉行政 【     】課

その他 【     】

**2 幼児言語指導教室の設置場所**

【     】小学校内

【     】幼稚園内

その他【     】

**3 担当者について**

\* H23.4.1現在で記入

氏 名	職 名	保有資格及び過去の指導年数	現教室の指導年数

**4 勤務形態について**

職 名	1週当たりの勤務日数	1日当たりの勤務時間	勤務年限
(例)非常勤嘱託	5日	6時間	なし(あり(他職も含め60月))
	日	時間	なし・あり(
	日	時間	なし・あり(

勤務年限(雇い止め)の制度が厳しい状況です。各市町の状況を教えてください。

#### 4 相談件数

H22. 4. 1～H23. 3. 31

	AD	SR	St	口蓋裂	難聴	合計	電話相談のみ
5歳児							
4歳児							
3歳児							
2歳児							
1歳児							
合計							

#### 5 指導延人数

H22. 4. 1～H23. 3. 31

\* 途中退級者も含む

	AD	SR	St	口蓋裂	難聴	合計
5歳児						
4歳児						
3歳児						
2歳児						
1歳児						
合計						



SRの中で、「自閉症」「高機能自閉症」「アスペルガー症候群」  
「広汎性発達障害」「ADHD」「LD」等診断名が出ている幼児  
または、その疑いが強い幼児の数(総数)

	人数
5歳児	
4歳児	
3歳児	
2歳児	
1歳児	
合計	

#### 5 待機幼児数

H22. 4. 1～H23. 3. 31

	AD	SR	St	口蓋裂	難聴	合計
5歳児						
4歳児						
3歳児						
2歳児						
1歳児						
合計						

\* 相談をしたが、時間割がいっぱいで入級できず待ってもらった幼児、○か月に1回等の経過観察幼児、相談待ちの幼児等。地域により違いがあると思われるので補足説明をお願いします。

--

**8 指導頻度について**

H22. 4. 1～H23. 3. 31

\* 途中退級者も含む

1週間に1回	人
2週間に1回	人
1か月に1回	人
その他	

\* 補足説明、ご意見等がありましたら記入してください。

--

**9 指導幼児の所属**

H22. 4. 1～H23. 3. 31

\* 途中退級者も含む

公立保育所	私立保育所	公立幼稚園	私立幼稚園	在宅
人	人	人	人	人

\* 園との連携、園への啓発等 教室での取り組みを記入して下さい。

--

**10 その他の機関との連携・支援について**

--

### 11 今年度当初の指導児数

H23. 4. 1現在

	AD	SR	St	口蓋裂	難聴	合計
5歳児						
4歳児						
3歳児						
2歳児						
1歳児						
合計						

### 12 検査器具、検査用紙等の購入希望

\* 早期啓発事業費より、多少の購入が可能となりました。希望があれば記入願います。  
過去の購入状況、地区の購入状況等で検討させていただきます。

### 13 その他、ありましたら自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。